

宇都宮市立豊郷中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【学習に関すること】

- 『家で、自分で計画を立てて勉強しているか』の質問では、肯定的回答が63%であり、全国・県の割合をそれぞれ10.9ポイント、3.6ポイント上回っている。
- 『家で、学校の授業の予習・復習をしているか』の質問に対する肯定的回答は69.7%で、全国の割合を14.5ポイント、県の割合を2.2ポイント上回っている。
- 数学・理科に関する一連の質問では肯定的回答の割合が高く、全国・県の割合を上回っている項目が多い。
- 『1・2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うか』『1・2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思うか』『生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか』の質問に対する肯定的回答がそれぞれ84.2%、72.1%、81.2%で、全国・県の割合をかなり上回っている。

【学校生活等】

- 『先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか』の質問に対する肯定的回答が92.1%で、全国・県の割合をそれぞれ9.9ポイント、4.3ポイント上回っている。教員と生徒との人間関係の構築がよくなされている結果かと思われる。
- 『学校の規則を守っているか』の質問に対する肯定的回答が97%であり、生徒の規範意識の高さがうかがえる。

【地域との関わり等】

- 全体的に肯定的回答の割合が大きく、地域とよく関わっていることが分かる。

【社会に対する興味・関心】

- 『人の役に立つ人間になりたいと思うか』の質問に対する肯定的回答が98.87%で、全国・県の割合を上回っており、他者への思いやりや公共心・公德心の高さがうかがえる。

【自尊意識】

- 『自分には、よいところがあると思うか』の質問に対する肯定的回答が84.8%で、全国・県の割合を上回っている。

【家庭生活】

- 『朝食を毎日食べているか』『毎日、同じくらいの時刻に寝ているか』『毎日、同じくらいの時刻に起きているか』の質問に対する肯定的回答が、93.9ポイント、80.6ポイント、89.1ポイントで全国・県の割合をほとんど上回っている。
- 『家の人と学校での出来事について話をするか』の質問に対する肯定的回答が86.6%で、全国・県の割合をそれぞれ10.6ポイント、6.9ポイントと大きく上回っている。保護者の学校に対する関心の高さや親子間のコミュニケーションがきちんと図られていると思われる。

宇都宮市立豊郷中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|-------------------|--|--|
| 学習課題の明確化 | 授業の初めに本時の学習課題を明示し、ノート等に記入させる。 | 『1・2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うか』の質問に対する否定的回答が15.7%である。 |
| 相互授業参観による授業力向上の推進 | 生徒が主体的に学べる学習形態・学習過程・学習指導の工夫を目的として、授業改善を目指す。 | |
| 毎週水曜日「家庭学習の日」の推進 | 放課後部活動がなく一斉下校になる水曜日に、少しでも机に向かい、家庭学習をする習慣作りをする。 | 『学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか』の質問に対し、30分未満の生徒の割合が5.4%である。 |

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

| 調査結果等に見られた課題 | 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 |
|--|---|--|
| 『1・2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思うか』『生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか』の質問に対する否定的回答が27.3%、18.8%である。 | 生徒が主体的に学べる学習形態・学習過程・学習指導の工夫を目的として、授業改善を目指す。 | 学習活動や学校行事など生徒間で話し合う活動や自分の考えを発表する機会をさらに設け、体験を通して学ばせる。 |